

2016—2017年度

国際ロータリー第2790地区第12分区

松戸北ロータリークラブ



人類に
奉仕する
ロータリー

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

第2115回 例会 2016年7月19日(火)

- | | | | |
|----------------|-------------|-----------|---------------------------------------|
| ■国際ロータリー会長 | ジョン F. ジャーム | ■例会日 | 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30) |
| ■第2790地区ガバナー | 青木 貞雄 | ■例会場 | 松戸市根木内117-1「一幸・松戸根木内店」 |
| ■第12分区ガバナー補佐 | 小倉純夫 | ■事務所 | 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイム101 |
| ■松戸北ロータリークラブ会長 | 森谷 充伯 | ■TEL/FAX | 047-711-5950 / 047-711-5910 |
| ■松戸北ロータリークラブ幹事 | 瀧上 啓太 | ■Web/Mail | www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp |

< 2115回：例会プログラム >



| | | |
|-------|--------------------|-------------|
| 12:30 | 点鐘 | 森谷充伯会長 |
| | ロータリーソング斉唱 | |
| | 【♪我等の生業】 | |
| 12:33 | お客様紹介 | 平田洋一会長エレクト |
| 12:35 | 会食 | |
| 13:00 | 例会再開 | |
| | 会長挨拶・報告 | 森谷充伯会長 |
| | 幹事報告 | 大川高明副幹事 |
| 13:05 | パストガバナー卓話 | 関口徳雄パストガバナー |
| | クラブ研修（研修リーダー主催） | |
| 13:25 | 委員会報告】 | |
| | ■出席・親睦活動委員会 諸事お祝い | 長嶋正巳委員長 |
| | ■社会奉仕委員会 社会奉仕基金発表 | 柳孝実委員 |
| | ■ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表 | 小林辰幸委員長 |
| 13:30 | 点鐘 | 森谷充伯会長 |

< 会長挨拶：森谷充伯会長 >

皆様 こんにちは

本日は、平田会長エレクトより、紹介がありました第2790地区（2013-14年度）のガバナーを務められました。浦安ロータリークラブ所属、パストガバナーの関口様を迎え渡辺研修リーダー主催の卓話をお願いしました。

テーマは、「ロータリーと私」です。関口パストガバナーにおかれましては、後程ご指導をお願い申し上げます。さて、今月に入り全世界で、悲惨な事件が多発しています。我が国においても、対岸の火事とは思えません。

我々、日本国民も仕事や余暇で海外へ行くことも益々増えているからですが、国際奉仕活動を追求しますと奉仕が必要な地域と重なるような気がします。奉仕もボタンのかけ違いで反作用になる事も考えられます。私自身も、JETROやJICAを頼りに、中東地域の市場調査へ幾度となく渡航しましたがニュースにならない事件が多数ありました。通信技術の進化と共に、瞬時にリアルなニュースや画像が放送されます。事件を起こす側の思惑どおりになっている事も事実です。しかしながら、我々も情報通信網を駆使して現状の最新情報を的確に捉えて国内外の奉仕活動を実践する事が大切であると確信します。尚、来週は移動例会になります。（火）は休会です。7月7日（水）12：00、松戸商工会議所集合です。会場にてお弁当を用意してあります。食事後の点鐘となります。また、当例会場の席で前の会員や横の会員間で声を掛け合ってください、当日の参加出席をお願い申し上げます、挨拶に代えさせていただきます。



< 幹事報告：大川高明副幹事 >

- ◆松戸市社会福祉協議会より「まつど社協だより第149号」の送付がありました。
- ◆松戸花火大会の「協賛者用観覧スペース入場券」があります。詳しくは、事務局にお問い合わせください。



本日のお客様

浦安ロータリークラブ
パストガバナー

関口徳雄 様

＜パストガバナー挨拶：関口徳雄様＞

(はじめに)

卓話の機会を頂き、感謝申し上げます。

私が3年前にGであった時のAG渡辺さんの肝いりで貴重なお時間を頂くことになりました。最近では本業が忙しくてロータリーのお話から離れていますので上手にお話しできるか少し心配ですが、お付き合い下さい。

頂いたタイトルが「私とロータリー」ですが、比較的新しい会員のお皆さんに焦点を当ててお話しさせていただきます。



第1 人との出会い

1 私は、詩人で書道家の相田みつをの「その時の出逢いが人生を根底から変えることがある。良き出逢いを。」という言葉が大好きです。

何故なら、私には人生の節目に色々な感動的な出会いがあったからであります。

第一に、大学4年の時に成績が悪く就職が難しい、ならば中大の法学部にいるのだから、司法試験に挑戦しようと言って強引に私を誘ってくれた友人のおかげで、2人して努力し、24歳の時に2人同時に合格し、弁護士となりました。

第二は妻との出会いです。これは少し何とも言えないのですが、知人の紹介で2人で初デートの時、前日徹マンだったので寝坊して、私は1時間遅刻したのですが、彼女は待っていてくれました。もし、彼女が怒って帰ってしまっていたら、私には別の彼女との出会いがあったかもしれませんが、どっちが良かったか…？あの時の妻との出会いが天国か地獄への誘いだったかは…？未だ結論が出ていないのであります。

2 ロータリーにおいても然りでした。

約35年前に浦安ロータリーの重鎮で地元の実力者でもあった人との出会いがあり、入会を勧められたのですが（その方は一昨年没）、皆様の多くも御経験がおありと思いますが、例会でいきなり鐘をならすことから始まり、大の大人が口をパクパクして一斉に歌を唄いだすなど、ちょっと信じられない光景でした。また、当時、公民館（商工会議所）での例会であったことから、我が家でもやったことのない食事弁当の仕度準備、後片付け等々、これらは当時の私の人生観からかなり違和感があり、半年でイヤになって、今で言う「プツン」となり、ああもうやめた！と言ってお盆のお迎え火の中にバナナなどロータリーグッズをくべて燃やしてしまったことがありました。（一緒にいたお袋がビックリしていましたが…）しかし、紹介者から「石の上にも3年」というのに半年しかもたないのは人間として何か欠陥があるのでは？と指摘され、しかし最大の殺し文句は「俺の顔を潰すのか」とも言われ、我慢して2～3年したらきっと面白くなるからと言われ、色々あって今日に至りました。その私が今、かつての地区の指導者としてこの壇上に立っておりますことは、皆様との出会いを含め何かの因縁ではないでしょうか？

3 さて、皆さんにとってロータリーとはどういう意味合いのものでしょうか？

皆さんにとってロータリーとは何ですか？と問われたら何とお答えになるのでしょうかね？

おそらく、職業奉仕を通じて自らの道徳心を向上させるための道場だとか、親睦を深める場とか、奉仕の理想を求める場とか、色々高尚なお答えが頂けると思います。これらを否定するつもりは全くありませんし、私もそう思うのですが、しかし、私にとってロータリーとは？と聞かれるとプラスワンがあります。それは「癒しの場です。」「ストレス解消の場です。」と申し上げたい。

私は、仕事柄年がら年中人と戦っております。演技で人と喧嘩もします。ヤクザの金貸しとも対決します。「何だコノヤロー、弁護士を甘くみるなよ！なめんなよ！」とか？

ですから、ロータリーは仕事場とは全く違う環境、つまり「取引」も「駆け引き」も「戦い」も「紛争」も「金銭の授受」もない、ゆったりとした空間であり、ロータリーの例会が待ち遠しく、例会に出て友人達と顔を合せるとホッとします。

そして、今ではあのチーンが心を落ち着かせ、ロータリーソングが心を楽しく躍らせてくれるのです。

ですから、ロータリーは私にとって道徳心を向上させる道場であり且つ癒しの場なのです。

4 そしてまた、私にとってロータリーは、ストレス解消の場でもあります。

医師ではないのですが、ストレスが溜まると免疫が落ちて癌になりやすいとか…

ストレスを解消するには、体を動かす（運動）か、仕事以外の趣味を持つとか言われております。ですから、私はロータリーが仕事以外の趣味ではないのですが、少しでも仕事とは関係のない世界でありますので、ここでストレスを解消させて貰っております。私にとって、ある種ロータリーとは人格を磨く場であると同時に癒しの場であり、ストレス解消の場でもあります。

5、みなさんにとってはいかがでしょうか？大なり小なり私と同じ思いではないでしょうか。

第2 ロータリーの本質についての私の考え方（概念）

1 ロータリーの本質ないし本願は、この世を倫理道徳心にあふれた人間社会で満たすことのお手伝いをす

ることにあると考えています。よく例に挙げられている話として、たばこの吸殻を捨てることは大事だが、ロータリーの本質はそうではなく、たばこの吸殻を捨てないような道徳心のある人を育てる社会にする事であると、道徳、即ち「人が善悪をわきまえて正しい行動をなすために、守り従わなければならない規範の総体」つまり「人の踏み行うべき道」でしょうか、そして倫理、即ち「人として守らなければならない事柄」。そのような人間社会であればこそ、人間同士の正しい絆での結び付きを生み、それは言うまでもなく争いのない平和な社会を創出するものであり、正にロータリーが目指す究極の目的である世界平和を実現するものであるからです。先輩ロータリアン曰く、ロータリー運動はある種「倫理運動」である。従ってロータリークラブは寄付団体、慈善団体、そしてボランティア団体ではなく、社交クラブとしてロータリアンに「奉仕の心」「奉仕の理念」を育て、世の中に倫理を提唱していくべき使命を持った団体なのだとするものであり、私もそう思います。

2 (あるガバナーの体験談)

そのガバナーが公式訪問の際、宿に向って按摩さんと呼んだそうです。そして、揉んで貰っている最中に、按摩さんに聞いたそうです。「ロータリーのことを知っているかね?」と。そうしますと、「知っていますよ、旦那方の結構なお集りだそうで、この間も盲人用の杖・・・あの、ほら入口に置いてある白い杖を頂きましたよ。」と答えたそうです。それを聞き、件のガバナーは、我が意を得たりと思ったんでしょう、重ねてこう問いかけたそうです。「ところで、ロータリーのことをどう思うかね?」と。按摩さんはこう答えたそうです。「白い杖は方々から貰ってもう5本もたまりました。杖を下さるのもありがたいですが、この間交差点で歩道を渡ろうとしてオタオタしていた時に、中学生くらいの男の子がそっと寄って来て‘おじさん、こっちだよ’と言って手を引いてくれたんですよ。‘坊や、ありがとう’と言う間もなく当たり前のようにすっと立ち去っていきました。まあそう言っちゃなんですが・・・私としては、この坊やのしてくれたことの方がずっとありがたかったですよ。」というやり取りです。

皆さん、いかがでしょうか?何か心にグサッとくるものがありますか?勿論、物を与える、ひいては金を寄附するという行為の中に「善意」そして「奉仕の心」もあるでしょう。しかし、他の奉仕団体ならともかく、ロータリーの本願ないしはロータリアンの善意は「金や物」ではなく、「奉仕という行動ないし実践」の中にあるべきものと思います。

第3 ロータリーとは?

他からロータリーとは?と問われたとき何とお答えないし説明すべきか。奉仕団体とか、ボランティア団体とか、いろいろなのでしょうが、ロータリーのすべてを一瞬にして説明できる定義がありますので、是非これを覚えておいて下さい。

40年前にRI理事会が作成した定義の日本語版です。

4つのフレーズに分かれています。

- ① 世界中の事業及び専門職務従事者からなる国際的組織で、
- ② 人道的奉仕活動を行い、
- ③ あらゆる職業に対し高い道徳水準を奨励し、
- ④ 世界中で親善及び平和を築くために助力している。

そのような団体です。上記が総論としたら下記は各論になります。

先ず、①から分かることは、ロータリーは職業人の集まりであることです。最も近頃では職業がなくてもロータリアンになれる時代ですから、あくまで原則としてということになるでしょうかね。以前は過去必ず職業を持ったことのある人しかありませんでしたが。

次に、②の人道的奉仕ですが、ロータリー財団の人道的プログラムの説明をすればよいわけです。ポリオ撲滅の説明や6つの重点項目に沿った奉仕活動の説明です。ここで大事なのはR Iは人を出し、財団は金を出すというシステムです。

そして、③は、ロータリーが他の奉仕団体にはない職業奉仕を標榜する団体だということ、またそれだけでなく各自の職業に高いモラルないし道徳を求めていること。それは、結局は個人へ高い倫理基準を求めていることになり、このことがロータリーはある種倫理運動的な要素を持った団体であるといわれている説明になるのです。

最後に、④は、世界中で平和と親善を求める団体であるということですが、あくまでロータリーは主として活動する団体ではなく「ヘルプ」つまり助力団体であることが大事なのです。なぜ助力なのか?即ち国ないし他の平和団体が平和を構築するのをお手伝いする団体であるということです。これはロータリーの本質であることですがロータリーが生き残るための知恵なのです。なぜなら、ロータリーが主体的な行動をとることによって力を持つと、政治権力やある思想を持った団体に利用され時には潰されてしまうからです。

ロータリーをやさしく説く書物によると、以下のような言い方になります。

「ロータリーとは、利他の心を養い、人を育てるとともに、献身的な奉仕活動を行う世界的な団体です」

< 7月諸事お祝い：出席・親睦活動委員会：長嶋正巳委員長 >



夫人誕生日
三村藤明会員（美智子様）7月23日



< ニコニコ委員会：小林辰幸委員長 >

- 三村藤明会員：家内のお祝いを有難うございました。
また、娘におひねりをありがとうございました。
- 児山守治会員：森谷・渕上年度のスタートにあたりお喜び申し上げます。
1年間頑張ってください。
本日は、関口パストガバナーをお迎えしての卓話と、クラブ研修会が举行されます事、真にありがとうございます。稔り多き授業となり感謝いたします。これからもご指導よろしくお願い致します。
- クラブ奉仕委員会：先週、昨年度の研修会参加者のみ、有志に手懇親会を行いました。
研修リーダーをお勤め頂いた小菅会員よりお気持ち頂戴してましたので少し残りました。よってニコニコさせていただきます。

< 本日のお客様 >



関口徳雄パストガバナー



■ロータリーの奉仕哲学「超私の奉仕」Service above self■

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。